

各 位

東京藝大の正規授業をどなたでも受講可能な「社会共創科目（公開授業）」  
学芸員やアートマネージャーのリスキング、アーティストのキャリアシフト、  
そして「アートと社会の関係を本格的に学びたい／最新状況を知りたい」あなたに  
2025 年度ラインナップ発表・受講生募集のご案内（4/14(月)正午募集開始）

キュレーション教育研究センターの開設科目は毎年満員御礼。2025 年度は 5 科目を開講し、うち 3 科目は内容をリニューアル。本学学長・日比野克彦はじめ、作曲家・野村誠やキュレーター・難波祐子ほか、アートフィールドの第一線で活躍する豪華な講師陣とともに社会人が「学び直す」機会に。

2025 年度 東京藝術大学  
キュレーション教育研究センター  
開講授業ラインナップ

すべての科目が、本学学生対象の授業に  
社会人（一般の方はどなたでも）が参加できる  
「社会共創科目（公開授業）」です。

キュレーション教育研究センター  
Center for Curatorial Studies Geidai

通年開講

- ・ 展覧会設計演習
- ・ 演習：アートプロジェクト したまちフィールドワーク  
リニューアル

前期開講

- ・ 芸術環境創造論 I  
リニューアル

後期開講

- ・ 現代美術キュレーション概論
- ・ 社会包摂のためのアートプロジェクト：音楽×身体表現×福祉 I（理論編）  
リニューアル



日頃より東京藝術大学の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この度、東京藝術大学キュレーション教育研究センターは、2025 年度に開設する「社会共創科目（公開授業）」のラインナップを公開いたしました。今年度は 5 科目を開講し、うち 3 科目は内容を大きくリニューアルします。

※「社会共創科目（公開授業）」は 2023 年度に開始した本学初の試みで、本学学生対象の授業に社会人（一般の方はどなたでも）が参加できるという枠組みです。

＼ここがリニューアル！／

▼ 演習：アートプロジェクト したまちフィールドワーク

- ・ 2024 年度まで開講していた「演習：アートプロジェクト 1DAY パフォーマンス表現街」の後継科目
- ・ 履修生は、作曲家・野村誠の参加型コンサート《キタ！千住の 1010 人》に参加いただきます

▼ 芸術環境創造論 I

- ・ 担当講師ラインナップを大幅変更！
- ・ 日比野克彦、佐藤悠によるワークショップと、松下計、黒川廣子らの特別レクチャーを通して、「モノ」から「コト」へと変化してきたアートのパラダイムシフトを振り返ります

▼ 社会包摂のためのアートプロジェクト：音楽×身体表現×福祉 I（理論編）

- ・ 2024 年度まで開講していた「演習：アートプロジェクト 音楽×身体表現×福祉」の後継科目
- ・ 「I（理論編）」と「II（実践編）」の 2 科目に構成を変更、受講しやすくなりました

※「II（実践編）」は 2026 年度以降に新規開設予定

なお、前期開講科目、通年開講科目は 4 月 14 日(月)正午より受講生募集がスタートします。これまでに参加いただいた社会人受講生は、プロフェッショナルの学芸員やアートマネージャー、アーティスト、美術・人文系学生、クリエイティブ職や企画職に就いているビジネスパーソンだけでなく、医療・福祉系従事者や、主婦・主夫の方、IT 系スタートアップの方、自治体職員の方等、普段から文化芸術に携わるお仕事をしていない方々にも数多くお集まりいただきました。

美術、音楽、パフォーマンスアーツ等、アートフィールドの第一線で活躍する学内外の講師陣を迎えて、プロデューサーからマネジメント、ファンダムのマーケティングに至るまで、さまざまな「キュレーション」の手法を学べる授業を構成しますので、ぜひこの機会をご利用いただきたく、ご案内申し上げます。併せて、本センター・本授業の周知にご協力を賜れば幸いです。どうぞよろしくごお願い申し上げます。

詳細：[https://ccs.geidai.ac.jp/learn\\_with\\_us/](https://ccs.geidai.ac.jp/learn_with_us/)

## ▼2025 年度「社会共創科目（公開授業）」一覧▼

科目名	キーワード	授業曜日 (開講時期)	受講生 募集期間	定員	受講料
＼レクチャー＆ワークショップで アートの現在地を探ろう／ 芸術環境創造論 1	#アートのパラダイムシフト #ワークショップ #アートプロジェクト	6 月～7 月 全 5 回 各回 13:00～18:00	4/14(月)正午～ 5/7(水)18:00 ※先着順	(対面参加) 30 名 (オンデマンド) 50 名	5 万円
＼参加型音楽の現場にダイブ！／ 演習:アートプロジェクト したまちフィールドワーク	#アートプロジェクト #市民協働 #参加型音楽 #行政 #NPO #まちづくり	5 月～10 月 全 6 回 不定期開催	4/14(月)正午～ 5/7(水)18:00 ※応募者多数の 場合は選考します	(対面参加) 10 名	無料
＼キュレーションの今を知りたい／ 現代美術キュレーション概論	#キュレーション #学芸員 #芸術祭 #美術館 #国際展 #アートプロジェクト #アーカイブ #文脈	10 月～1 月 全 14 回 毎週木曜 18:00～19:30	2025 年 夏ごろ公開予定	(オンライン) 150 名	5 万円
＼展覧会で社会とアートをつなぐ／ 展覧会設計演習 (有楽町藝大キャンパス)	#キュレーション #アーティスト #オフィス街 #企画立案 #マネジメント	5 月～11 月 全 15 回 原則土曜 10:00～13:00	3/21(金)～ 4/21(月)23:59 ※応募者多数の 場合は選考します	(対面参加) 12 名	10 万円
＼2025 年度は理論編／ 社会包摂のためのアートプロジェクト: 音楽×身体表現×福祉 I (理論編) (有楽町藝大キャンパス)	#音楽 #ダンス #企画立案 #ワークショップ #こども #コミュニケーション	11 月～1 月 全 6 回 原則土曜 13:30～18:30	2025 年 夏ごろ公開予定	(対面参加) 20 名	5 万円

「社会共創科目（公開授業）」の取り組みは、日比野克彦学長が打ち出した「芸術未来研究場」構想の一つとして実施しています。

本学は、アートの礎である「いまここにはないものをイメージする力」をもとに、伝統の継承と新しい表現の創造のための教育研究機関であると同時に、様々なステークホルダーと共に社会を形づくる主体を目指し、「芸術未来研究場」を設置しました。

「芸術未来研究場」は、全学横断的に企業・官公庁・他の教育研究機関との連携を強化/推進する新たなプラットフォームとして6つの領域実践：[ケア・コミュニケーション] [アート DX] [クリエイティヴアーカイヴ] [キュレーション] [芸術教育・リベラルアーツ] [アート×ビジネス] を据えています。当センターはこのうちの [キュレーション] 領域を担う組織として、特に期待が寄せられています。

## ▼修了証発行について▼



写真：加藤甫

キュレーション教育研究センターの社会共創科目（公開授業）では、受講生の方に修了証を発行しています。出席回数やリアクションペーパーの提出等、各科目ごとに発行基準は異なりますが、みなさまの積極的な受講を期待しています。

※藝大生は発行対象ではありません。

※この修了証は本プログラムを受講したことを示すものであり、資格や学位を証明するものではありません。

**通年開講「演習：アートプロジェクト したまちフィールドワーク」****担当教員（吉田武司・長尾聡子）より：**

足立区千住で、市民とアーティストと一緒に活動し、まちに新たな縁を生み出すアートプロジェクトに触れてみませんか？古くは宿場町として栄え、新旧入り混じる千住。このまちにキャンパスを構える藝大が、アート NPO や足立区シティプロモーション課等と運営のタッグを組み 15 年目を迎える市民参加型アートプロジェクトのマネジメント現場を体験できる授業です。まちづくりとアートのかかわりに関心のあるみなさまに受講いただくと嬉しいです。

**前期開講「芸術環境創造論 1」****担当教員（キュレーション教育研究センター副センター長・熊倉純子）より：**

昨年開講の芸術環境創造論に対して、今年開講の芸術環境創造論 1 はアートのパラダイムシフトがテーマです。モノからコトへ変容するアートをどう捉えたいのでしょうか。日比野学長をはじめ、東京藝大の教職員や招聘アーティスト、海外からのスペシャルゲストを交えた豪華セッションでみなさまをお迎えします。

**後期開講「現代美術キュレーション概論」****担当教員（キュレーション教育研究センター 特任准教授・難波祐子）より：**

昨年度の授業では、美術館・博物館関係者はもとより、普段アートとは直接関係のない部署で働いているビジネスパーソンなど多様な受講生が熱心に参加されていました。現代美術は、私たちの少し先の未来を映し出す鏡です。現代美術をとりまく「キュレーション」の今を知ることで、明日を生き抜くためのヒントが得られるかもしれません。

**▼「有楽町藝大キャンパス」の一環で実施する科目▼**

まちに、社会に、ビジネスに、そして個人の生き方に、  
アートでイノベティブな視点を生み出す、長期授業プログラム

有楽町藝大キャンパスは、ビジネスのまち・有楽町をフィールドに、東京都・東京藝術大学・有楽町アートアーバニズム（YAU）が連携して実施する人材育成プログラムです。最先端の知的な学びが得られる講義型授業にくわえ、社会を批評的に見る目を養ったり、考えたり、ときに表現したりする実践型授業があります。授業を通じて得られた学びが個人に蓄積され、社会や、ビジネス、そして個人の生き方に還元されていくことで、まちの中にある、あらゆる領域が有機的にやわらかくつながっていくことを目指しています。

**通年開講「展覧会設計演習」****担当教員（キュレーション教育研究センター 特任准教授・難波祐子）より：**

社会とアートを結びつけるキュレーションについて、実際の展覧会企画制作・運営を通して藝大生と実践的に学んでみませんか？大学のキャンパスを飛び出して、藝大生と社会人受講生が互いに協力し合いながら、街なかで、小規模ながら実際に実験的な現代美術の展覧会を一緒に作ってみましょう。本講座は、これまで展覧会企画を経験したことがない方でもご参加できます。ただし基本的には展覧会の実施時を含めて全回参加できる方を歓迎します。

**前期開講「社会包摂のためのアートプロジェクト：音楽×身体表現×福祉 I（理論編）」****担当教員（コーディネーター・酒井雅代）より：**

近年、パフォーマンスアーツにおける非言語コミュニケーションの側面に注目が集まり、芸術のみならず教育や福祉など幅広い分野でその活用が模索・実践されています。本授業では、クラシック音楽と身体表現を融合させた体験型プログラム「ムジタンツ」の活動を中心に、福祉分野と連携して行うアートプログラムの事例について学びながら、音楽や身体表現を用いたプログラムをどのように地域に実装することができるか思考します。地域コミュニティや地域福祉と芸術文化を繋ぐことに関心のある方々のご受講をお待ちしています。

**【お問い合わせ】**

東京藝術大学 キュレーション教育研究センター

※報道関係者の方は [info-ccs@ml.geidai.ac.jp](mailto:info-ccs@ml.geidai.ac.jp)（広報：富山）までお問い合わせください※

東京藝術大学キュレーション教育研究センターは、歴史的、伝統的なキュレーションの概念や役割とともに、現代社会の課題を反映して多様化する「キュレーション」に取り組む教育と研究の場です。対話と協働を通して芸術と社会のさまざまな関係性を紡ぎ上げるキュレーションをはじめ、美術のみならず、音楽やパフォーマンス・アーツ、私たちがいるべき未来の姿をキュレーションするなど、領域横断的に人材の育成と研究に取り組みます。

※「展覧会設計演習」「音楽×身体表現×福祉」の申込・お問い合わせは「有楽町藝大キャンパス」事務局までお願いいたします。（MAIL：[info@yurakucho-geidai-campus.jp](mailto:info@yurakucho-geidai-campus.jp)/HP：<https://yurakucho-geidai-campus.jp/>）



◀キュレーション教育研究センター  
公式 HP・CONTACT フォーム

## 2025 年度から講師ラインナップを大幅変更！

## レクチャー&amp;ワークショップでアートの現在地を探ろう

## 「芸術環境創造論 1」

開講日時 | 6/14(土),21(土), 29(日), 7/5(土), 12(土) 各日 13:00-18:00

開講場所 | (一般の方) 千住キャンパス 第7ホール OR オンデマンド / (藝大生) 千住キャンパス 第7ホール

ある日、「アート／文化事業」担当に異動になった。日々現場で孤独に1人で闘っている。事例調査やネットワーキングが必要なあなたには、まずこの授業がおすすめ。

モノからコトへのアートとは？日比野学長が初回授業で語る、東京藝大の「芸術未来研究場」構想をスタート地点として、今日のアートの範疇が拡大している現状や、プロジェクト型のアートの運営の実際について学びます。また、講師によるワークショップを通じて、コミュニケーションや関係性を結ぶ創作の現在地を体験します。対面受講の方はキャンパスで、オンデマンド受講の方は記録映像でお楽しみください。

アートの現場未経験者も大歓迎。本授業を通じて、アーティストやアートマネージャーの方は文化芸術の担い手たちとの協働の方法を、クリエイティブな視座を普段のお仕事や生活に活かしたい方は、そのヒントをお持ち帰りいただければ幸いです。

## 第1回 | 芸術のパラダイムシフト1ー東京藝大では何が変わろうとしているのか？

対面授業：6/14(土)13:00~18:00

オンデマンド授業(\*)：6/19(木)以降順次公開

- ①ガイダンス&「芸術未来研究場」とは(講師：日比野克彦(本学学長)、熊倉純子(本学大学院国際芸術創造研究科教授))\*
- ②ワークショップ(講師：日比野克彦)
- ③ワークショップ

## 第2回 | 芸術のパラダイムシフト2ー作品を「つくる」から作品から「生まれる」へ

対面授業：6/21(土)13:00~18:00

オンデマンド授業(\*)：6/26(木)以降順次公開

- ①モノからコトへのデザイン(講師：松下計(本学美術学部デザイン科教授))\*
- ②自己投影のメディアムとしてのアート(講師：黒川廣子(大学美術館館長))\*
- ③ディスカッション(対面参加の受講生のみ)

## 第3回 | 芸術のパラダイムシフト3ー形なきプロジェクトとしてのアート

対面授業：6/29(日)13:00~18:00

オンデマンド授業(\*)：7/3(木)以降順次公開

- ①アートプロジェクトとは何か(講師：熊倉純子)\*
- ②地方とケアから考えるアートプロジェクト(講師：西尾咲子(本学芸術未来研究場 ケア&コミュニケーション領域/共創拠点推進機構 特任研究員))\*
- ③ディスカッション(対面参加の受講生のみ)

## 第4回 | 「つなぐ」をつくるアーティスト/「つなぐ」を仕掛けるマネジメント

対面授業：7/5(土)13:00~18:00

オンデマンド授業(\*)：7/10(木)以降順次公開

- ①アートマネジメントの実際ー協働するアクターたち(講師：韓河羅(キュレーション教育研究センター特任助教))\*
- ②地域でアーティストが制作することの現在(ゲスト講師：佐藤悠(アーティスト))\*
- ③ワークショップ(ゲスト講師：佐藤悠)

## 第5回 | 日本型アートプロジェクトの現在地

対面授業：7/12(日)13:00~18:00

オンデマンド授業(\*)：7/17(木)以降順次公開

- ①これまでの振り返り&フィードバック会\*
- ②日本型アートプロジェクトの現在地ーソーシャリーエンゲージドアートの文脈から(ゲスト講師：Justin Jesty(ワシントン大学アジア言語文学学科准教授))\*
- ③ディスカッション(対面参加の受講生のみ)

※なお、授業は講師の都合により内容の変更が生じたり、順序が入れ替わる可能性があります。

## ■一般の方(対面参加)

定員 | 30名(先着順)

受講生募集期間 | 4/14(月)正午~5/7(水)18:00

受講方法 | 全15コマの対面授業を¥50,000(税込)で受講できます。

お申し込みフォーム |

<https://forms.gle/Dbi6pwsBd7VofFtKA>

## ■一般の方(レクチャーコマのみのオンデマンド視聴)

定員 | 50名(先着順)

受講生募集期間 | 4/14(月)正午~5/7(水)18:00

受講方法 | 全9コマの講義コマと、2つのワークショップの記録映像を¥50,000(税込)でオンデマンド受講できます(原則として対面授業実施日の翌週から8月末まで視聴可能、リアルタイム配信はありません)。

お申し込みフォーム |

<https://forms.gle/2xcCu9gfeWBi8Us66>

## ■お問い合わせ

東京藝術大学キュレーション教育研究センター



## 2025 年度から体験できるアートイベントが変更！

## 参加型音楽の現場にダイブ！

## 「演習：アートプロジェクト したまちフィールドワーク」

## 開講日時 |

- ①5/17(土) 3～5 限 (13:00～17:50)
- ②5/25(日) 2～4 限 (10:40～16:10)
- ③9/6(土) 3 限 (13:00～14:30)
- ④10/4(土) 3 限 (13:00～14:30)
- ⑤10/12(日) 1～5 限 (9:00～17:50) ※「キタ！千住の 1010 人」開催当日
  - ・雨天時は 10/13(月祝) 1～5 限 (9:00～17:50) に順延
  - ・さらに荒天時は 11/15(土)・11/16(日)に延期
- ⑥10/26(日) 3～4 限 (13:00～16:10)
  - ・⑤が 11 月に延期の場合は 11/30(日) 3～4 限 (13:00～16:10)

## 開講場所 | 千住キャンパスほか

担当教員 | 熊倉純子 (国際芸術創造研究科 教授)、吉田武司 (「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」ディレクター)、長尾聡子 (「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局長)、野村誠 (作曲家)、石橋鼓太郎 (アーツカウンシル東京芸術文化調査員 (プログラムオフィサー / 音楽分野)、東京藝術大学非常勤講師)

本授業では、アーティスト、行政、NPO、市民ボランティアなど、芸術の専門家・非専門家を問わず多様な担い手とともに領域横断的な表現を扱うことで、同時代の社会と関わりながら、共創的な場を作ることを可能にするアーツマネジメントの手法を実践的に学びます。

本年度は、足立区千住を中心に、東京藝術大学 (音楽学部・大学院国際芸術創造研究科) と足立区シティプロモーション課、NPO 法人音まち計画の三者が共同で実施している文化事業「[アートアクセスあだち 音まち千住の縁 \(音まち\)](#)」 (2011 年～現在) がフィールド。作曲家・野村誠とともに実施する [千住だじゃれ音楽祭](#)「キタ！千住の 1010 人」をテーマプロジェクトとして取り上げます。

## 2014 年度の様子はこちら：

野村誠 千住だじゃれ音楽祭「千住の 1010 人」 (東京都中央卸売市場 足立市場)

<https://youtu.be/8tWu43Hc3Ng?feature=shared>

## 2024 年度の様子はこちら：

おとなも子どもも声と楽器と舞でたのしむ・さぐる

「だじゃれ音楽 オープンキャンパス」 (東京藝術大学 千住キャンパス)

<https://youtu.be/wtUY0sR-LEI?feature=shared>

## ■一般の方 (対面参加)

定員 | 10 名 (応募者多数の場合は選考します)

受講方法 | 全 6 回の対面授業を無料で受講できます。

受講生募集期間 | 4/14(月)正午～5/7(水)18:00

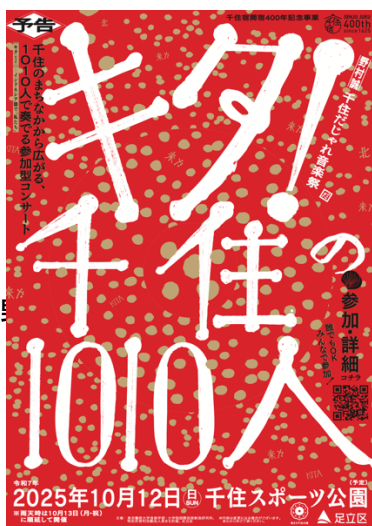
お申し込みフォーム |

<https://forms.gle/89f2vCgX42xw1gMg7>

## ■お問い合わせ

東京藝術大学

キュレーション教育研究センター



## キュレーションの今を知りたい

## 「現代美術キュレーション概論」

開講日時 | 後期 木曜 6 限 18:00~19:30

開講場所 | (一般の方) オンライン / (藝大生) 上野キャンパス 国際交流棟 GA 講義室

現代美術を取り巻くキュレーションは、近年の美術表現の領域横断化や、時代の変化に伴う美術館や展覧会のあり方の変遷によって、大きくその姿を変えています。本授業では、美術館での展覧会から、街なかでのアートプロジェクトに至るまで、さまざまな形でアートと社会をつなぐキュレーションの実践について、実際にそれぞれの現場で活躍している講師陣を迎えて授業を構成します。取り扱うジャンルも絵画や彫刻などの従来のアートに加えて、パフォーマンスや参加型・プロジェクト型のアート、領域横断的な協働型のアートなど広く紹介します。

## 第 1 回 | 10/2(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)

「イントロダクション：現代美術キュレーションの見取り図ー美術館、国際展、芸術祭、アートプロジェクト」

## 第 2 回 | 10/9(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)

「日本におけるキュレーションの変遷について：戦後から現在まで」

## 第 3 回 | 10/16(木)

担当教員：李美那(大学院美術研究科 教授)

「日本における Museum と Museum curator の関係と文脈ー変化する国際情勢の中で」

## 第 4 回 | 10/23(木)

担当教員：熊澤弘(大学美術館 教授)

「ミュージアム・コレクションの管理とキュレーション：東京藝術大学大学美術館所蔵の現代美術作品の事例を中心に」

## 第 5 回 | 10/30(木)

担当教員：鷺田めるろ(国際芸術創造研究科 准教授)

「国際展でのキュレーション：ヴェネチア・ビエンナーレ日本館を例に」

## 第 6 回 | 11/6(木)

担当教員：服部浩之(大学院映像研究科 准教授)

「協働プロジェクトのキュレーティング：異なる領域を架橋する芸術実践」

## 第 7 回 | 11/13(木)

担当教員：熊倉純子(国際芸術創造研究科 教授)

「アートプロジェクトのキュレーション：日本のアートプロジェクトの変遷とその担い手について」

## 第 8 回 | 11/20(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)

「前半授業振り返り &amp; 後半授業イントロダクション」

## ■お問い合わせ

東京藝術大学  
キュレーション教育研究センター

## 第 9 回 | 11/27(木)

担当教員：今村有策(大学院美術研究科 教授)

「グローバル時代のキュレーション：世界の現場から」

## 第 10 回 | 12/4(木)

担当教員：毛利嘉孝(国際芸術創造研究科 教授)

「ポスト/ウィズコロナのアートとキュレーション」

## 第 11 回 | 12/11(木)

担当教員：荒木夏実(美術学部 准教授)

「歴史と向き合うキュレーション：人種・ジェンダー・帝国主義」

## 第 12 回 | 1/8(木)

担当教員：平諭一郎(未来創造継承センター 准教授)

「アーカイブとキュレーション：作品と資料とその再演」

## 第 13 回 | 1/15(木)

担当教員：相馬千秋(大学院美術研究科 准教授)

「領域横断するキュレーション：『パフォーマンス』を生成するキュレーション実践」

## 第 14 回 | 1/22(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)+ 青木彬(インディペンデント・キュレーター)

「社会包摂とキュレーション」

※なお、授業は講師の都合により内容の変更が生じたり、順序が入れ替わる可能性があります。

## ■一般の方 (オンライン)

定員 | 150 名(先着順)

受講生募集開始 | 2025 年夏ごろ公開予定

受講方法 | 全 14 回のオンライン授業を、¥50,000 (税込) で受講できます (リアルタイムで配信予定)。

お申し込みフォーム | 2025 年夏ごろ公開予定

※日本博物館協会会員の方はお申し込み方法が異なります。



## 展覧会で社会とアートをつなぐ 「展覧会設計演習」

### 開講日時 |

5/24(土), 6/7(土), 6/21(土), 7/5(土), 7/19(土),  
8/30(土), 9/13(土), 9/20(土), 9/27(土),  
10/4(土), 10/11(土), 10/18(金), 10/19(土), 10/26(日), 11/15(土)

※5月～9月、11月は10:00～13:00で開講します

※10月は1週間程度の展覧会を実施する予定のため、授業曜日と時間が変則となります

開講場所 | 有楽町 YAU STUDIO (東京都中央区銀座一丁目3番先 東京高速道路北有楽ビル1階)

担当教員 | 難波祐子 (キュレーション教育研究センター 特任准教授)



写真：中川陽介

※本授業は「有楽町藝大キャンパス」の一環として実施します。

現代美術の展覧会の制作について、都内で一般の観客を対象に小規模な展覧会・アートプロジェクトを実施することを念頭に企画から制作、運営までのプロセスを実践的に学びます。都市空間に介入しながら、通常の美術館での展覧会とは異なる手法で、アートと実社会を結びつけるキュレーションについて藝大生と共に主体的に思考・実験していく機会とします。

授業では展覧会見学や街歩き、アーティストとの対話などを交えながら、展覧会の企画制作に関する必要な知識を学び、実際に街(都市空間)で実現したい展覧会を企画立案し、学生と社会人受講生のチームが主体となって展覧会を運営・開催します。

本授業は5月から11月にかけて15回の演習授業を基本とし、10月中旬～下旬に1週間程度の展覧会開催を予定しています。

キュレーション教育研究センター公式HPでは、授業の一環として実施した企画展の記録集を公開中！

- ・2024年度『丸の内 Drippin' Tripper』
- ・2023年度『めぐる、身体。めぐる、丸の内。』

#### ■一般の方 (対面参加)

定員 | 12名(応募者多数の場合は選考します)

受講方法 | 全15回の対面授業を、¥100,000(税込)で受講できます。

受講生募集期間 | 3/21(金)～4/21(月)23:59

#### ■お申し込み・お問い合わせ

「有楽町藝大キャンパス」事務局

[info@yurakucho-geidai-campus.jp](mailto:info@yurakucho-geidai-campus.jp)

<https://yurakucho-geidai-campus.jp/>

2025 年度から授業構成を見直し、受講しやすくなりました！

## 「社会包摂のためのアートプロジェクト： 音楽×身体表現×福祉」（理論編）」

開講日時 |

後期集中（3 月末時点では下記のスケジュールを予定しています。）

11/15(土)、11/22(土)、11/29(土)、12/13(土)、1/10(土)、1/17(土)

各日 13:30~18:30

※11/29(土)のみ午前開講の予定。

開講場所 | 有楽町 YAU STUDIO（東京都中央区銀座一丁目 3 番先 東京高速道路北有楽ビル 1 階）

担当教員 | 箕口一美（大学院国際芸術創造研究科 教授）、酒井雅代、山崎朋



### ▼第 1 回 | インTRODakション、ワークショップ体験

講義の前半では、クラシック音楽と身体表現を組み合わせた「ムジタンツ」のワークショップを体験し、その体験について分析的に振り返り言語化する。また、アートプロデュースについてのイントロダクションとなる講義を行う。

※動きやすい服装でご参加ください。

### ▼第 2 回 | ケーススタディ

福祉領域とアートが連携する複数の事例についてケーススタディを行い、事例や背景理論についての理解を深める。また、それについてのディスカッションを行う。

### ▼第 3 回 | ワークショップ体験、ケーススタディ

松岡大氏（NPO 法人 LAND FES）をゲストにお招きし、松岡氏によるダンスワークショップを体験するほか、地域との連携やダイバーシティ推進の取り組みを行ってきた LAND FES の活動事例について紹介いただく。

### ▼第 4 回 | 企画立案

複数のグループに分かれ、芸術実践と社会課題を結ぶプロジェクトの企画立案に取り組む。

### ▼第 5 回 | 企画立案、プレゼンテーション①、講評

第 4 回に引き続き、芸術実践と社会課題を結ぶプロジェクトの企画立案に取り組む。また、各グループの提案する企画についての中間プレゼンテーションとフィードバックを行い、企画のブラッシュアップを目指す。

### ▼第 6 回 | プレゼンテーション②、講評、振り返り

講師：箕口一美、酒井雅代、山崎朋  
企画の最終プレゼンテーションと講評を行う。また、本講義全体の振り返りを行う。



写真：中川周

#### ■一般の方（対面参加）

定員 | 20 名(応募者多数の場合は選考します)

受講方法 | 全 6 回の対面授業を、50,000 円(税込)で受講できます。

受講生募集期間 | 2025 年夏ごろ公開予定

#### ■お申し込み・お問い合わせ

「有楽町藝大キャンパス」事務局

[info@yurakucho-geidai-campus.jp](mailto:info@yurakucho-geidai-campus.jp)

<https://yurakucho-geidai-campus.jp/>

※本授業は「有楽町藝大キャンパス」の一環として実施します。